



みんなでつくる新世紀

グラフみんなの県政 1984 4月No.14

活力にあふれ、発展する富山 温かい心に満ちた美しいふるさと。

置県百年を記念してつくられた県民公園太閤山ランドのモニュメント「百年の泉」は、高さ17m、アーチ、球、基壇、池、噴水、照明が組合わされ、多様な表情をもっています。本県出身のマントラ画家、前田常作氏がデザインしたものです。

写真下は、百年後の人たちに、現代の暮らしや自然、社会状況を伝えるタイムカプセルの埋設(1983年8月28日)する中沖知事ら。約200点の記録や日用品が収納された内径90cm、高さ170cm、重量約400kgのステンレス鋼製のタイムカプセルは、いま郷土の発展と、未来の人たちの幸福を願って、太閤山ランド「水辺の広場」の地中で静かに眠り続けています。



ごあいさつ

ことし富山県は、新たな気流によって第二世紀への歩みを始めました。いまこそ、新世紀にふさわしい県づくりの基礎をしっかりと築かなければならない重要なときにあると思います。

激動と混迷のつづく時代にあって、県民生活を取り巻く環境は大きく変化してきており、確かな見識をもって果敢に行動することが求められています。

このようなときこそ、県民に開かれた県民本位の県政、先見性に満ちた計画県政を基本に、県づくりを一步一步確実に進めていくことが大切であると思います。

私は、このような認識に立って、県民総合計画を基本として、「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」の三大政策を展開し、「活力にあふれ、温かい心に満ちた美しいふるさと」の実現を図るとともに、21世紀をめざした日本一の「健康・スポーツ県」、「花と緑の県」、「科学・文化県」の三大目標に向かって、施策を着実に実行してまいりたい所存であります。

この小冊子は、県政の一端を写真と若干の解説によってご紹介するものでありますが、県民みなさまの積極的な県政参加の一助になればまことに幸いと存じます。

昭和59年4月

富山県知事 中 沖 豊



ともに生きることに喜びと誇りを感じる富山。

明日を拓く人づくり

活力と温かいところに満ちた富山県は、
心身ともに健康で創造性に富み、
思いやりのある豊かな心をもった
富山県民によって築かれます。



中沖知事が打つ郷土の新しい世紀の号砲のもと「さあ走ろう、タスキを結い、まちと村」をキャッチフレーズに県内一周駅伝競走大会は、中学生、高校生に婦人も老人も加わって275.4キロを16都市対抗して走り、県内住民一体となってわきあがりました。

スポーツの風が、健康を運んでくる。

「自分の健康は生活のなかで自分がつくる」という自覚をもって健康づくりを実践しましょう。
県では、生涯スポーツプランの策定を進めるとともに、地域の特徴を生かした「一市町村一スポーツ」の育成や小、中、高校生の一貫したジュニア対策に積極的に取り組めます。
総合体育センターは、本年6月に大体育館が開館し、さらに温水プール棟も建設いたします。

また、太閤山ランド、大品山自然歩道、立山山麓などの観光レクリエーション地区の整備充実を図るほか、常願寺川緑地公園の開園をめざし整備を進めます。県民の皆様にも広く活用されることを期待しています。
医療の確保につきましては、本年10月に全国でも数少ないリハビリテーション専門病院が開院するほか、県立中央病院に和漢診療部門を開設するなど機能の充実強化を図ります。



自らの健康は自分で守ろうと健康増進センターで測定に汗する県民は増えています。



全国ジュニアオリンピック夏季水泳競技大会で見事な演技をみせるシンクロナイズ



誰もが、生きがいを求めている。



県内の老人ホームではなごやかな笑いの渦が広がり、長く地域社会の発展に貢献してきた人生を誇り、余暇の生きがいにしあわせを求めています。



10月の開院をめざす日本海側初の総合リハビリテーション専門病院が急ピッチで建設される社会福祉総合施設センター

県民すべてが不安のないしあわせな生活を送ることのできる福祉社会を実現することは、すべての県民の願いであります。このため、世代間交流・スポーツ・保健活動などを対象とした老人生きがい対策メニュー事業の新設や緊急な課題となっている痴呆性老人に対するきめ細かい対策を進めるなど老人福祉の充実、心身障害児総合通園センターの開園など障害のある方々に対する施策や、児童・母子福祉の充実を積極的に進めます。



学びたいことは、まだまだある。



塩分のとり方が多いから…と家庭の健康を学習を通して考える主婦たちの減塩味そ作り



国際社会をめざして外国人教師から生きた英語教育を受ける生徒たち

明日の富山県を担い21世紀を切り拓いていくのは、広い視野と進取の気性、豊かな人間性をもった一人ひとりの県民です。県民大学校に新たに春季・秋季講座を開講するなど県民自らの個性と能力を十分発揮できるよう条件を整備します。高校生の急増に対応するため、昭和61年4月開校に向けて、大門・大島地域新設高校の建設に着工するほか、コンピューター機器の整備による情報処理教育の推進、外国人教師による生きた英語教育の強化、私立高等学校の特色ある教育活動を推進するなど学校教育の充実に努めます。また、県立技術短期大学に、県内コンピューター教育の中核施設としてコンピューター教育センターを設置し、幅広い活用を図ってまいります。また、県民の文化活動の拠点として、県民センターの建設に着手します。



デビュー、富山のアーティストたち。



世界12カ国、15劇団が参加した第1回富山国際アマチュア演劇祭で三年寝太郎を演ずる文芸座のみなさん



県内の児童・生徒が画く、創造性にあふれ、希望や夢がいっぱいの壁画展は好評のうちに3回目を迎えました。

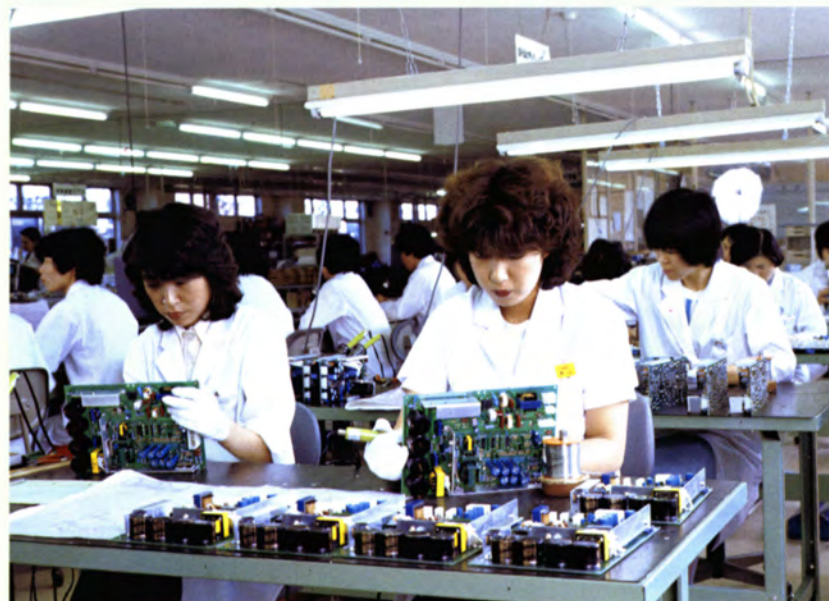
心のやすらぎや潤いを求める文化活動への期待がますます強まっています。このような期待に応えるため、地域に根ざした水準の高い文化の創造を図ります。文化の県づくりについて総合的な検討を行う文化振興のための会議を設立するほか、博物館の基本構想の策定を進めます。また、新たに農業用水施設を含め河川の活用を図り、水と緑の空間をさらに有効に生かすなど文化的環境の整備を進めています。



若いエネルギーは、無限の可能性がある。



豊かな発想で、明るい職場づくりをテーマに語り合う若者たちの目は輝く



付加価値の高い生産にいそむ女性の進出が目立つ職場が増えています

富山県の第2世紀を切り拓くのは、ふるさとを愛し、活力に満ちた若者です。多くの若者が、心身ともにたくましく成長し、若い力を社会のために大いに発揮することができるよう、家庭・学校・地域社会が一体となって青少年健全育成運動を進めなければなりません。また、青年、高校生の海外派遣など青少年の国際的視野を広めることに力を注いでいきます。婦人施策では、「婦人の明日をひらく富山県行動計画」の目標達成のため、婦人問題への理解と関心を高めるなど積極的に取り組んでいます。

魅力ある郷土づくり

温かい家庭と心ふれあう地域社会。
快適で美しい郷土。
それは私たちの暮らしの基盤です。

●心ふれあう快適な暮らしの実現



球根生産日本一を誇る富山県花チューリップが咲き乱れる砺波チューリップフェアは毎年4月下旬から始まります。

あたたかい家庭があるから、ふるさとだ。

心ふれあう快適な暮らしは、コミュニティ活動のさかなゆとりと温かい家庭から生まれます。県民の生命、財産を守り、暮らしの安全を図ることは、郷土づくりの基本です。このため水産物流通の実態を調査するなど消費生活安定向上をはじめ、地域に密着した街頭警察活動の

強化、市町村消防本部に高速ファクシミリの導入、情報連絡システムの強化など、防犯防災体制を整備します。また、県民総ぐるみで県土美化運動を展開し、町並みフラワーラインの整備や花と緑の指導にあたるグリーンキーパーの設置を図り、日本一の花と緑の県を目指します。



第3日曜日は「家庭の日」忙しい中にも団らんのひとつときをもつ家庭をつくりました。



新しい富山空港ターミナルビルに「驚き、感じ、知る」をテーマにつくられたユニークな富山県コーナー



休日には、小鳥たちの歌を聞いていたい。



余暇利用でにぎわう立山山麓家族旅行村

ふるさとは、いきいきのびのび生活できる。



置県百年をめざして完成し、にぎわう県民公園太閤山ランドと太閤山住宅団地



発展著しい富山市内から見る郷土のシンボル立山連峰

美しい自然に恵まれた豊かな県土は、県民の誇りです。生活水準の向上と潤いのある豊かな生活空間を求めため、黒部川など四河川の河川環境総合活用調査に取り組むとともに、神通川を軸として、富山空港から富山湾までを結ぶ21世紀水公園プランを策定します。農村集落内の排水路活性化モデル事業を実施するなど、農村の生活環境の改善、雪の克服と活用を目指す雪対策の総合的モデル事業の実施、そして海洋の開発利用に積極的に取り組んでいます。



もう大雪はこわくないぞと活躍する除雪車



日本一の落差と威容を誇る称名滝



持ち家率全国一の県内は住みよさも日本一

快適な県民生活を営むためには、住宅や上下水道など生活基盤の整備と充実が必要です。住みよき家づくり資金の融資条件を改善するほか優良宅地取得資金制度を創設し、住宅に対する県民ニーズに対応します。県民公園ねいの里に新たに鳥獣保護センターを設置するほかナチュラルリストの新規養成を行い、自然環境の保全に努めるほか、新たに黒部峡谷の樺平を中心に施設の整備に着手します。また、小矢部川流域下水道の整備については、昭和62年度の一部処理開始に向け浄化センターの建設を進めます。



ジェットで飛べば、日本もひとつの都市だ。



空の玄関富山空港がジェット化に伴い装いも新たに完成。B737型機が富山-東京間を常に満席で4往復



県民の北陸新幹線実現の意欲は増すばかり。



ほぼ全線が開通した大動脈

県民の生活領域を広げ、経済、社会、文化の発展をもたらす交通網の整備は必要不可欠です。新世紀の門出を祝うようにジェット旅客機が就航し、富山県の発展を大いに助長すると大好評。北陸新幹線は、国において建設費および調査費の予算が計上され、着工準備作業所も開所され、早期着工へ向けて着実に前進しています。北陸自動車道は県東部への開通が実現し、残る朝日-上越間の早期開通をめざし建設促進に努めます。



「世界のとやま」という発想を大切に。



国際化時代に果す婦人の役割は大きく、視野を広めるようにと大活躍
第3回の婦人の翼でサンフランシスコを訪問



中国遼寧省との友好県省締結の使者マーロー (写真提供: 田中光常)

交通・通信網の発達は、世界各国間の交流を年々活発なものとしています。このような国際化時代に対応するためには、広い視野を持った人材の育成や、人・物・情報の交流の促進に取り組む必要があります。青年海外派遣事業は、一般がオーストラリアおよびマレーシア連邦へ、農業部門にあつては、アメリカ合衆国およびカナダへ。また、婦人については、ドイツ連邦共和国およびデンマーク王国へ派遣。さらに、国際交流を緊密なものとするため、友好諸外国との親善関係も一層深めていきます。

活力ある産業づくり

● 技術立県



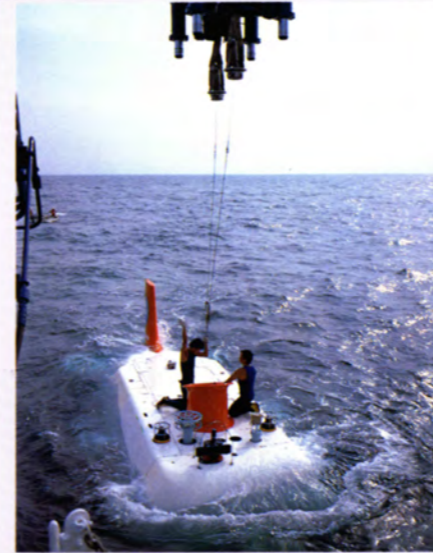
県民の働く場を維持し、つくり出し、
福祉の充実を図る安定した豊かな県民生活の実現は、
力強い産業活動によって支えられます。



新世紀、それは科学の時代を暗示している。

科学技術は、新しい未来を開くための原動力です。技術立県をめざす本県では、科学技術に親しむ風土の醸成を通じて、創造性豊かな人材を育てるとともに、技術革新の動向に積極的に対応できる環境条件の整備に努めています。このため、県科学技術会議の場において、本県の科学技術振興の基本目標を見定めるとともに、試験研究

機関に、新たに、特別指導者招へい制度、技術開発留学派遣制度を設け、人的交流の面から試験研究の充実を図っていきます。また、大学等の試験研究施設の誘致を進め、高次研究機能の集積をはかり、新たに試験研究機関における共同研究体制を整備するなど同機関の拡充を進めていきます。



神秘的なベールに包まれた富山湾に科学のメスをいれて探究しようと「しんかい2000」が調査

大型重量物が展示できる見本市、展示会の施設として日本海側最大を誇る「産業展示館」。愛称テクノホールは国際レベルのイベント、スポーツ、集会と多目的に利用できる創造のスペースです。



すばらしい、特産物を全国の人たちに。



特産王国をめざす県内では地域性を活かして喜ばれる特産物をと生産拡大の研究に励んでいます。



コシヒカリなどうまい米づくりにさかんな意欲を示す農業

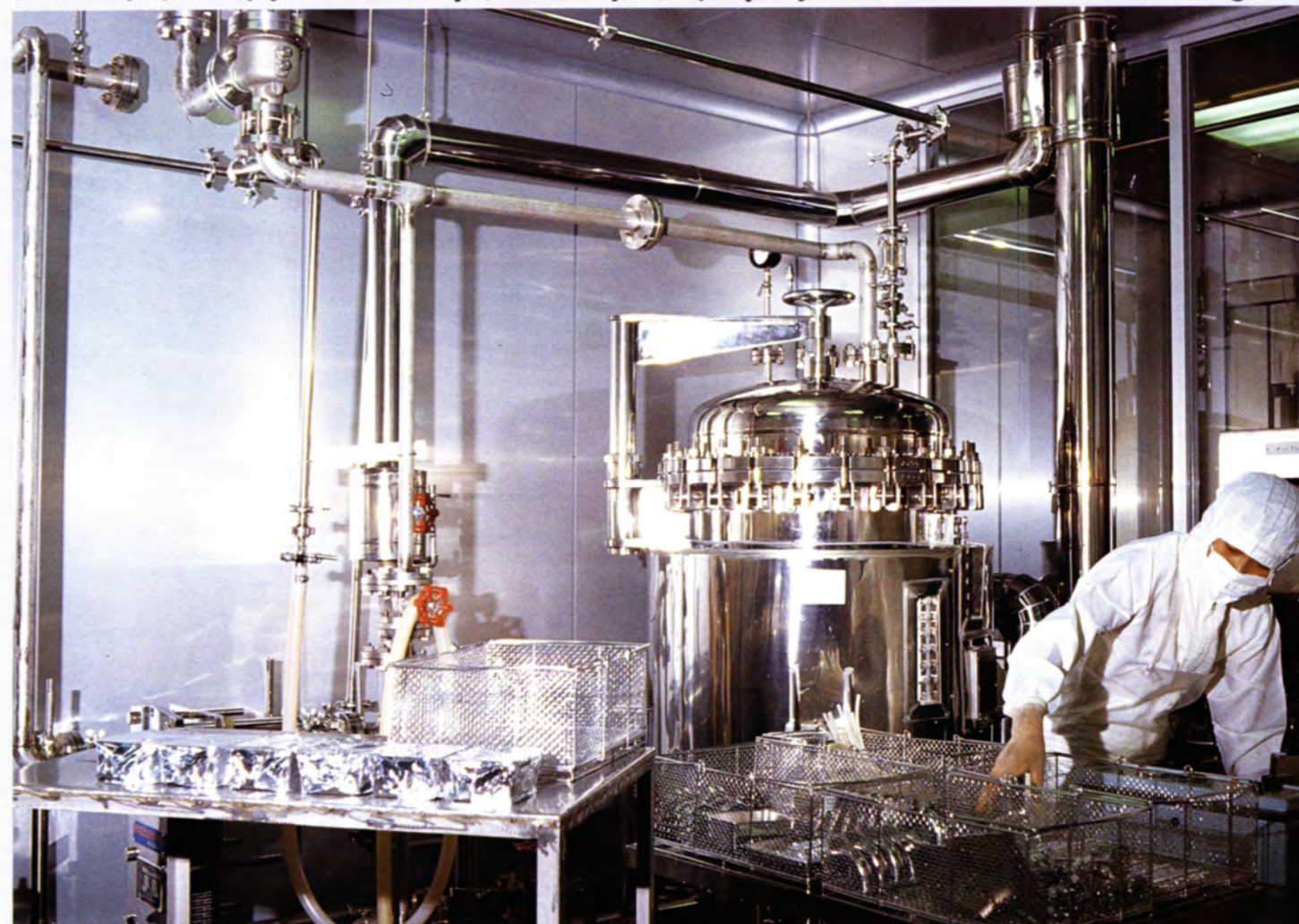
本県農業の進むべき基本的方向は、米作を基幹としながら地域性豊かな作物の生産性を高め、産地間競争に打ち勝つ強い農業を確立することにあります。

良質米生産県としての地位を一層高めるため、気象変動にも的確に対処できる技術指導システムの確立を図るなど、うまい米づくりにさらに努力いたします。なお、新たに導入された他用途利用米については、米の長期的需給見通しに立って、生産体制を整備し、秩序ある生産と予定数量の確保を図ります。

畜産では、肉牛改良増殖センターや畜産団地の建設に、林業については、山村住民の定住を促進する林業地域活性化総合対策事業の実施に力を注ぎます。さらに水産業については沿岸漁業の一層の振興を図るため、県沿岸漁業振興公社を設立し、公社栽培漁業センターの建設に着手します。

また、特産の振興については、「特産王国づくり」の一環として、新たに特産王国フェスティバルを開催するなど、イメージアップ対策を積極的に展開します。

先端技術が集まる街、富山テクノポリス。



先端技術をいち早く導入し、新しい医薬品研究に専念する企業内部



県西部地区の伝統産業など総合的振興、相互交流などの中核的拠点、地場産業センター

高い工業、技術集積と、立山連峰を望む美しい自然環境、住み良い生活条件などを基礎として、先端技術を中心に産業と学術研究機関と良好な居住環境が結びついた新しいまちづくり「富山テクノポリス」は、国の承認を受け、建設に積極的に取り組みます。このため、研究開発型企業に対する融資の円滑化、技術交流センターの建設に対する助成、テクノポリス地域開発促進資金の創設など、テクノポリス建設に向けて、積極的に施策を推進します。また、中小企業の経営安定と体質強化に、地場産業の振興に、和漢薬やバイオテクノロジーに対する融資制度の新設などにきめ細かい対策を行っています。



「いきいき富山」が、ふるさとの新しい顔になった。



「いい人、いい味、いきいき富山。」をキャッチフレーズに全国にむけて大々的にキャンペーンした観光アイデアで富山を知り富山へ訪れた人たちは急増しました。



活気にみなぎる商店街は、さらに機能の高度化を図っていきます。

サービス経済化の流れにそいながら、魅力ある地域づくりや、県民生活の向上、雇用の安定に大きな役割を果たしている第三次産業。
商業、サービス業の振興対策として、地域商業近代化ビジョンづくりを拡充するほか、商店街活性化セミナーの開催、商店街リーダーの育成など商店街機能の高度化、活性化を進めていきます。また、雄大な自然景観や新鮮な味覚など、多様で質の高い観光資源、引き続き「いきいき富山観光キャンペーン」により広く全国に紹介・宣伝し、「観光とやま」のイメージアップを進めます。アメリカ市場の販路の開拓を図るため、シカゴの見本市に出品するなど国内外の見本市に積極的に参加し、貿易の振興を図ってまいります。



いつまでも働いているお父さんが、好き。



雇用の安定は高齢化対策としても重要な課題＝職業訓練センターで技術をみがく＝



働くことに意欲のさかんな方々のために設置されたパート雇用センター

景気の回復基調を反映して、新規求人については、増加傾向に転じてきていますが、高齢化社会へ進展するなかで、中高年齢者を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。このような状況の対応策として、新たに高齢者雇用対策研究会を設置し、就業意欲を持つ高齢者層の雇用拡大について調査研究を進めます。また、生涯職業学習の場を拡大するため県民技能ライブラリーや教育プランナー養成講座を設けるなど、生涯訓練の充実に努めます。

私のふるさとは、日本一。

富山県においては、健康診査の受診率が全国トップレベルにあるなど、健康の維持、増進に対して高い関心が示されている。また、青少年の体位は、全国上位の水準にあり、県民の健康度は高い。今後は、このような優れた実績を基礎として、全県民による健康づくりを積極的に進め、「日本一の健康県」を目指す。スポーツにおいても、2000年国体が飛躍の契機となるよう、施設の整備や指導者の育成を総合的に進め、スポーツ人口の増加や競技水準の向上を通じて、「日本一のスポーツ県」を目指す。

● 日本一の健康・スポーツ県



21世紀への3つの挑戦。

富山県は、美しい自然に恵まれ、全国屈指の植生自然度を誇っている。また、災害が少なく住宅事情も良いなど、全国的にみて最も住みやすい県の一つである。このような恵まれた条件の上に、さらに県民総ぐるみで生活環境の緑化と県土美化運動を進め、うるおいに満ちた「日本一の花と緑の県」を目指す。また、全国一のチューリップ球根の生産や種もみ出荷の実績の上に、全国に花と緑を届ける日本一の球根と種子の生産基地づくりを進める。

● 日本一の花と緑の県

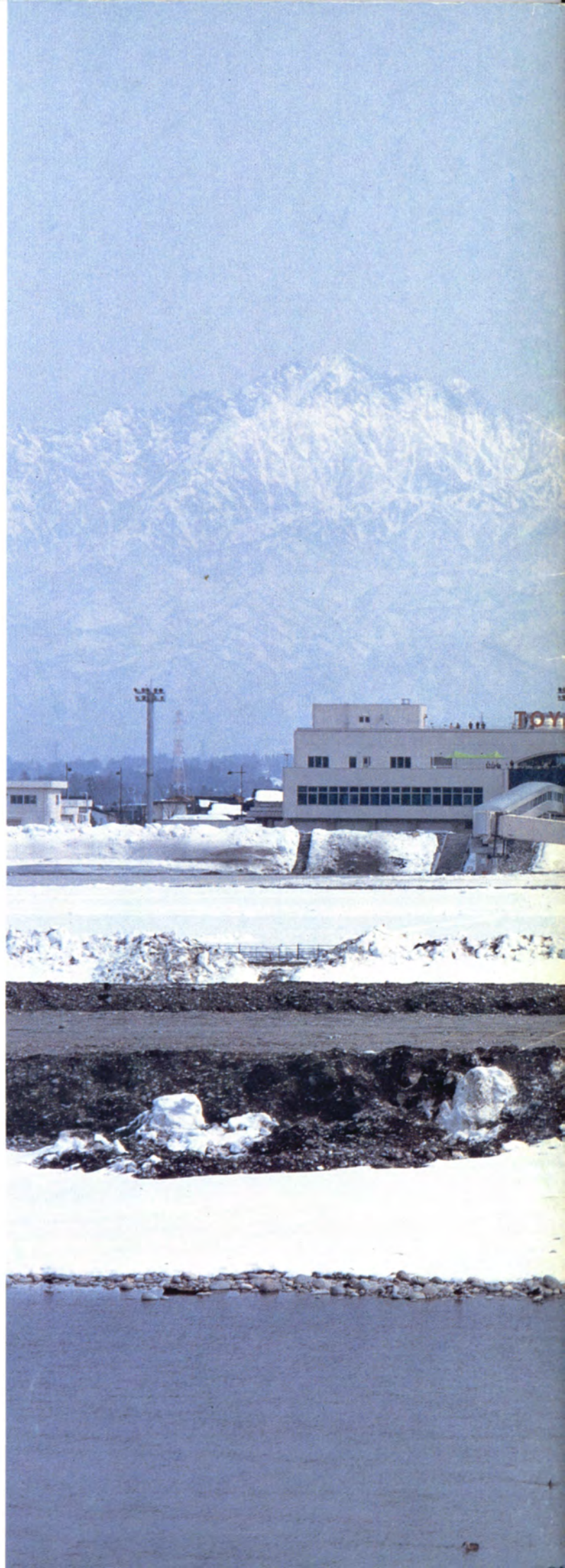


県民一人ひとりが、心から生きがいを感じることで、活力と温かい心に満ちた美しいふるさと富山県をめざし、みんなが手を結び合い、21世紀に向かって、三つの日本一に挑戦しましょう。

富山県民は、積極進取の気風を持ち、教育や学習に極めて熱心である。学校教育や社会教育の水準は高く、高校、大学などへの進学率も高い。また、公民館、図書館などの社会教育施設も整備されている。科学技術に対する県民の関心は高く、優れた技術力をもった企業も少なくない。祭りや伝統芸能など県民の生活に根ざした特色のある文化が受け継がれ、発展している。新しい芸術文化活動も盛んである。このような良き伝統と環境を生かし、県民が科学技術に親しみ、創造性を発揮して、新しい時代の経済社会をリードする「日本一の科学県」を目指す。また、県民の文化活動への参加の増大や芸術活動の水準の向上を通じて、「日本一の文化県」を目指す。(富山県民総合計画より抜粋)

● 日本一の科学・文化県





**東京へは約1時間のフライト
日帰りビジネス圏に。**

市街地に近接し、すばらしい立山連峰が展望できる。富山空港からジェット旅客機が就航したのが、さる3月18日。

東京とは約1時間で結ばれ、日帰りビジネス圏となりました。また、空港ターミナルビルは隣接する総合体育センター・産業展示館と共に形成するコミュニティの中核的施設として利用できます。